



ネットワーク渡辺税理士法人様



医科・歯科に特化した、約40年の実績を誇る戦略提案型の税理士法人。

TKCのサイバーセキュリティ対策サービスを導入し、セキュリティ対策状況を可視化

ネットワーク渡辺税理士法人は、総勢55名（税理士6名、公認会計士1名、OB税理士2名）の新宿区を拠点にした税理士法人です。自計化をベースに置き、事務代行型ではなく、戦略提案型の税理士法人として活動しています。顧客の95%以上が医科・歯科となっており、「業界に精通し、中長期を見通した医院戦略を提案できる」税理士法人として、節税対策相談、相続、事業承継、M&S法人設立、新規開業支援、資産運用や、決算申告等の税理士業務のほか、無料経営相談、節税セカンドオピニオンなどの業務を行っています。

当法人にはセキュリティ担当者やIT担当者はいないため、製品の選定は経営陣で行っています。

導入の背景

在宅勤務の増加によるセキュリティ対策の強化

会計事務所はお客様の売上や収入、税金といったお金に関する機微な情報を多く扱うため、十分なセキュリティ対策が必要です。特に当法人は医科・歯科を営むお客様が多く、お客様ご自身が秘匿性の高い機微なデータ、情報を日々取り扱っています。そのため、当法人におけるセキュリティ体制の強化は、ウィルス感染によるデータ漏洩といった直接的な被害を防ぐだけでなく、お客様に対して、安心感を与える意味でも重要だと考えています。

以前より当法人では外部との通信にクラウド型次世代ファイアウォールを導入しており、通信環境のセキュリティ強化は実施済みでしたが、巡回監査（当法人のスタッフが毎月お客様を訪問し、税務・会計の監査を実施する）でパソコンを社外に持ち出す事も多いうえ、コロナ禍により、週の半分以上はテレワークとなり、在宅勤務の機会も増えたため、パソコン1台毎のセキュリティ強化が必要になっていました。

しかしながら、セキュリティ専任者を雇うことは困難であり、本業をこなしながら、サイバーセキュリティ対策という高度に専門的な取り組みを実現するには、分かりやすく、運用負荷のかからないシステムの選定が不可欠でした。そういう事情をTKCに相談したところ、FFRI yaraiのウイルス検知を採用したTKCサイバーセキュリティサービスを紹介してもらいました。

<TKCサイバーセキュリティサービスの特長>

「情報セキュリティ5か条」に沿ったセキュリティ診断



中小企業や個人が最低限取り組むべきIPA^{*1}推奨の基本対策「情報セキュリティ5か条」の項目を自動診断します。

*1 セキュリティアクションは、IT導入補助金の申請要件です。
*2 IPAは、独立行政法人 情報処理推進機構(経済産業省所管)の略称です。

パソコンのセキュリティ遵守状況を可視化



個人情報や閲与先データを取り扱うOMS利用パソコンのソフトウェア脆弱性などの課題を可視化します。

“分かりやすく、運用負荷のかからないシステムの選定が不可欠でした”

導入の経緯

十分な性能を持つつ、専門の担当者がいなくても管理・運用が可能

当法人のセキュリティ対策の更なる強化が必要であると考えていたところにTKCから提案を受け、導入を決断したポイントは4点あります。

①TKCが提供するサービスではFFRI yaraiが収集した、パソコン1台毎の感染、或いはそれをブロックした情報や、OSやアプリケーションの更新状況などセキュリティ情報を一覧で閲覧するメニューを独自開発・搭載しており、事務所のセキュリティ状況が一目でわかれること。※下図

②当法人にはセキュリティ専門の担当者はいないため、特別な知識が無くとも管理・運用が可能であること。

③マルウェア検知に使用されているFFRI yaraiは、近年話題となっているサプライチェーン攻撃や、標的型攻撃など、高度なサイバー攻撃の検知・防御にも優れているほか、エンドポイントセキュリティの強化につながるなど、当社の課題を解決するソリューションだと感じたこと

④サービスを提供するTKCとFFRIセキュリティの両社とも日本の企業ということもあり、国産のアプリケーションという事も安心感につながった。

TKCサイバーセキュリティサービスをご利用のパソコン台数 289台						
2. パソコンのセキュリティの診断結果						
行	OMSユーザー名	パソコン名	診断日時	セキュリティの診断		
				ウィルス対策	パスワード変更	OS
1	堀 敬士	WS01169Y19	2020年09月11日 18時44分55秒	○	○	×
2	堀 敬士	WS01049Y19	2020年09月11日 18時15分37秒	○	○	○
3	堀 敬士	WS01870Y19	2020年09月11日 18時51分11秒	○	○	○
4	堀 敬士	WS03662Y19	2020年09月11日 17時53分59秒	○	○	○
5	柳澤	WS03856Y17A	2020年09月11日 17時52分22秒	○	○	○
6	堀 敬士	WS06363Y20	2020年09月11日 17時37分54秒	○	○	○
7	堀 敬士	WG188-R73TSBD	2020年09月11日 17時36分42秒	○	×	○
8	平加 優子	WS02977Y17	2020年09月11日 17時32分07秒	○	×	○

セキュリティの状況が端末ごとに○×表記で表示されるため特別な知識が無くとも運用が可能

導入の効果

セキュリティ状況を一覧で確認でき、運用の負荷は最小限

管理画面でパソコンのセキュリティ対策状況を一覧で確認できるようになり、不備のあるパソコンの洗い出しや、マルウェアの遮断状況が簡単に確認できるようになりました。運用にあたって複雑な操作や特別な知識も必要無いため、業務への負荷も最小限で済んでいます。これにより安心して、本業である税務・会計業務に集中できるようになりました。

あと、最近知ったのだが、TKCのサービスではFFRI yaraiが危険な攻撃を検知やブロックした場合、私宛にメールで通知があるのです。提案時に説明は受けていたが、忘れていたのでびっくりしました。そのときは危険な攻撃の検知とそのブロック通知でしたので、安心しました。

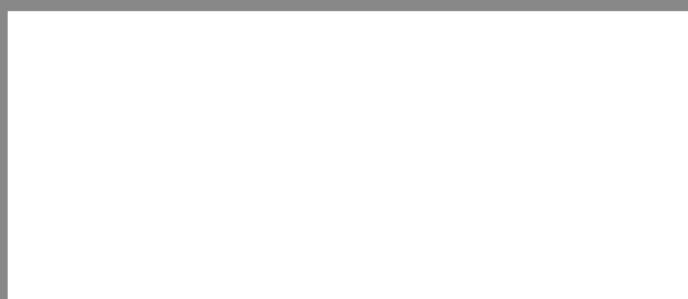
今後の展望

お客様を守るためにセキュリティ対策

今後はお客様とのデータのやり取りや、基礎ツールとしてクラウドサービスの利用も検討しており、当法人を守るだけでなく、大切なお客様を守るために、これからもサイバーセキュリティ対策は適切に行っていきたいと思います。



▶導入事例に記載された情報は初回掲載時(2020年11月)のものであり、閲覧・提供される時では変更されている可能性があることをご了承ください。導入事例は情報提供のみを目的としています。当社は、明示的または暗示的を問わず、本内容にいかなる保証もいたしません。



製品・サービスについてのお問い合わせは

株式会社FFRIセキュリティ

〒100-0005

東京都千代田区丸の内3-3-1 新東京ビル2階

TEL : 03-6277-1811 E-mail : sales@ffri.jp

本製品に関する情報はインターネットでもご覧いただけます。

<https://www.ffri.jp/>

■このパンフレットの内容は改良のために予告無しに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。

2020年11月現在